

# The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室  
発行人：出版室長 寺本 亮洞  
〒520-0113 大津市坂本 4-6-2  
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)  
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和元(2019)年12月1日 日曜日  
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



広報天台

## 森川座主猥下、ローマ教皇とバチカン以来の再会

### 広島での「平和のための集い」にご参列

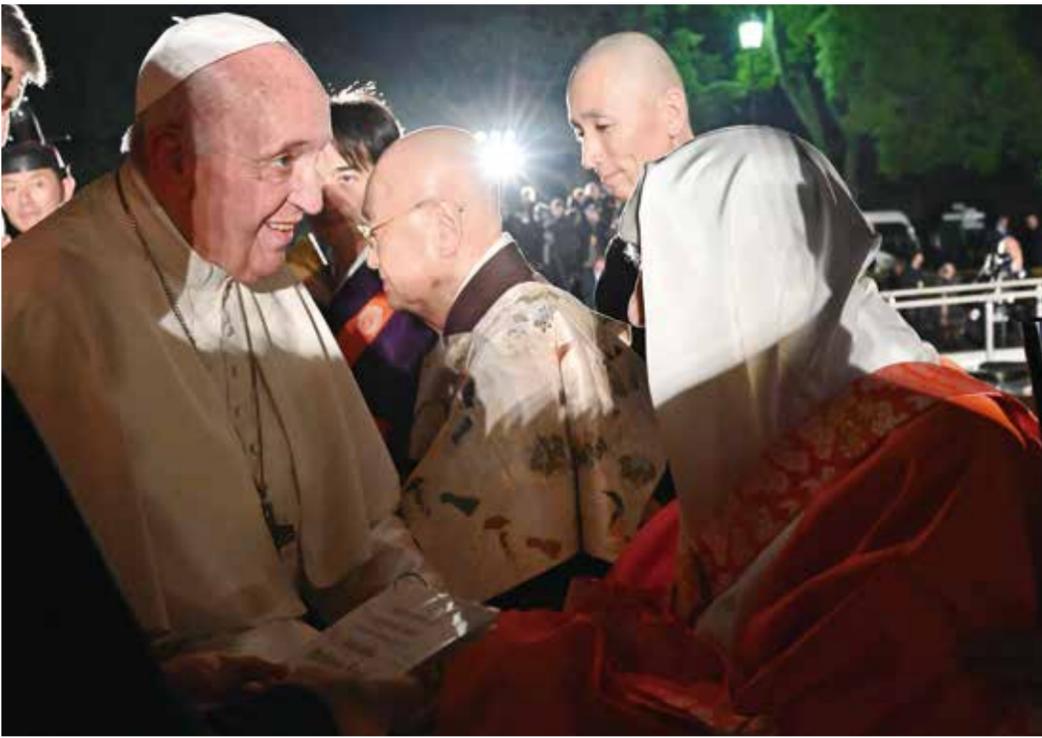
## 教皇のメッセーじに賛意

森川宏映座主猥下は、11月24日に広島市平和記念公園で開かれた「平和のための集い」に参列され、ローマ教皇フランシスコ聖下と握手を交わされた。互いに笑顔で挨拶され、平成28年のバチカン以来の再会を共に喜ばれた。

ローマ教皇の来日は38年ぶり。フランシスコ聖下は11月23日から26日までの日程で、長崎、広島、東京で、天皇陛下との会見やミサなどの諸行事、核兵器に関するメッセー

ジを発表されるなどの日程をこなされた。

森川座主猥下は、24日に平和記念公園で開かれた「平和のための集い」に招待され、全日本仏教会の江川辰三会長



ローマ教皇フランシスコ聖下と握手を交わす森川座主猥下 (©CBC)

(曹洞宗管長)、大谷光浄浄土真宗本願寺派門主ら仏教代表と諸宗教代表者19名と共に参列された。集いは午後6時40分から始まり、フランシスコ聖下は広島県知事や広島市長らの歓迎を受けた後、「平和の巡礼者として、この地の歴史の中にある悲惨な日に、傷と死を被ったすべての人との連帯をもって悼むために参りました」と記帳。続いて森川座主猥下ら諸宗教代表者と握手をしながら一人ひとりに挨拶された。

被爆者代表者らへの挨拶後、原爆犠牲者に献花され、慰霊碑の前に置かれた燭台に火を灯し、会場全員で一分間の黙祷を捧げた。2名の被爆者の証言を受け、フランシスコ聖下は平和メッセーじを読み上げ、「戦争のために原子力を使用することは、現代に



黙祷を捧げる諸宗教代表者

おいて犯罪以外の何ものでもない。核兵器の保有は倫理に反する」と厳しく非難。また「自分だけの利益を求めると、他者に何かを強いることが正当化されてよいはずはない」とも述べた。そして「現代世界はグローバル化で結ばれているだけでなく、共通の大地によっても、いつも相互に結ばれている」と、相互連帯を強調した。

フランシスコ聖下が会場を後にするまで、2千人の参加者は拍手で見送った。終了後、森川座主猥下は「私たちのいのち」は神仏から授かったものである。そのいのちを、人間が作った凶器である核兵器で奪うことは言語道断だ。また、原発はこの世からなくさなければならぬ。それが「己を忘れて他を利するは、慈悲の極みなり」という伝教大師のご精神にも通じるだろう。教皇様は、みなで力を合わせて平和を作っていくことと呼びかけられたと思う」と賛同の意を表されていた。



平和メッセーじを読み上げるフランシスコ聖下

### 極微

近頃、犯罪事件などで、人物の特定に、防犯カメラの映像が決め手となることが多くなってきた。ひと頃に較べると格段に増えてきている。事件の報道では、必ずといっていいほど、防犯カメラからの映像が使われている▼犯罪事件の解決に役立っていることに異議は唱えないが、街中、どこでも監視の目があるかと思うと、いささか不気味な気もする。もちろん、自分が犯罪を犯す気があるからではなく、プライバシーの観点からである。よく言われることだが「防犯カメラ」と称する場合と「監視カメラ」と呼ぶ場合では、受ける印象が違う。どちらを目的とするかの違いだけで、映像自体は変わらない。どこでも「監視」の目が光っていると思うと、うっかりと無様な真似もできない。酔っ払っての行為も映像に残るとなると、冷や汗ものだ▼カメラで記録するという歴史が浅いだけに、いろいろ問題も起きる。以前にタクシー運転手の売上金の入ったバッグが女性客に盗まれる事件があった。その時、タクシーのドライブレコーダーに映った人物によく似た女性が逮捕される羽目になった。否認するも警察は釈明を受け付けなかった。幸いにも真犯人が判明し、女性は釈放されたが、まかり間違えるところという誤認逮捕も生む。これからはカメラ記録の扱い方の基準も必要となってくるだろう。冤罪を生まないためにも。